

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年7月15日発表

平成16年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率(九州)

- 稲の作付面積が10年ぶりに増加 -

調査結果の概要

1 九州地域における平成16年の農作物作付(栽培)延べ面積は60万5,000haで、前年に比べて5,300ha(0.9%)減少しました。田畑別にみると、田は37万5,600haで、前年に比べて1,200ha(0.3%)、畑は22万9,400haで、4,100ha(1.8%)それぞれ減少しました。

作物別には、稲及びかんしょが増加したものの、それ以外の作物については減少しました。

2 耕地利用率(耕地面積に対する作付延べ面積の割合)は104.8%で、前年に比べて0.3ポイント低下しました。田畑別にみると、田は112.8%で0.4ポイント上昇したものの、畑は93.9%で1.2ポイント低下しました。

なお、本地利用率(本地面積に対する作付延べ面積の割合)は111.6%となりました。

第1表 平成16年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

区 分	作付(栽培)面積	前年との比較	
		対 差	対 比
作付(栽培)延べ面積	605 000	5 300	99.1
稲	202 000	5 100	102.6
麦類	55 000	0	100.0
かんしょ	17 400	900	105.5
雑穀類	2 340	0	100.0
野菜類	25 700	2 000	92.8
果樹	78 500	2 400	97.0
工業作物	48 300	1 500	97.0
芸肥作物	38 800	900	97.7
飼料作物	123 000	3 700	97.1
その他作物	14 000	700	95.2
耕地面積	577 100	3 600	99.4
耕地利用率	104.8	0.3	-
本地利用率	111.6	0.3	-

注：平成15年より、麦類の作付面積については、作物別の集計から用途別の集計へ変更しました。
これにより、麦類は子実用のみとし、青刈り用は飼肥料作物へ、その他用はその他作物へそれぞれ計上しました。
このため、対前年差及び対前年比については、前年値を用途別の集計に組み替えて算出しました。(以下同じ)

解 説

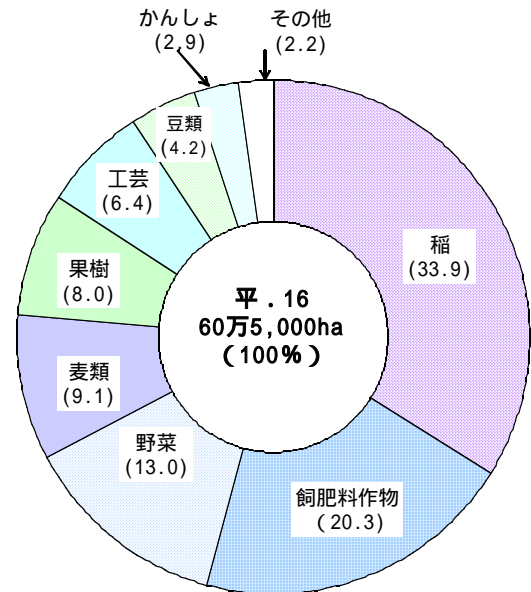
1 田畑計

- (1) 平成16年の農作物作付（栽培）延べ面積は60万5,000haで、前年に比べて5,300ha（0.9%）減少しました。

これを作物別に前年と比較すると、稲が5,100ha(2.6%)、かんしょが900ha(5.5%)増加したものの、飼肥料作物が3,700ha(2.9%)、野菜は2,400ha(3.0%)、豆類は2,000ha(7.2%)、果樹は1,500ha(3.0%)、いずれも減少しました。

作物別の面積割合をみると、稲が33.9%で最も高く、次いで飼肥料作物が20.3%、野菜13.0%、麦類9.1%、果樹8.0%及び工芸農作物6.4%の順となっています。

図 1 作物別作付延べ面積の割合



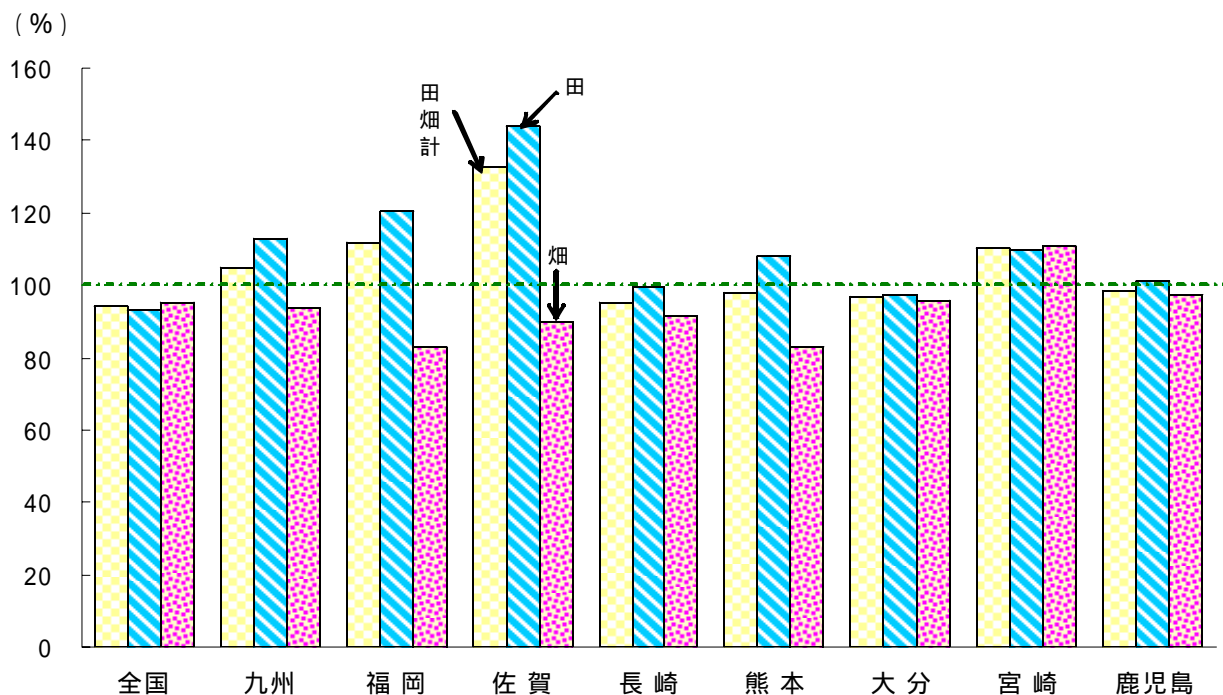
- (2) 耕地利用率は104.8%で、前年に比べて0.3ポイント低下しました。

これは、他作物からの転換等により稲の作付面積が増加し、また、焼酎ブームにより原料用かんしょが増加したものの、それ以外すべての作物において作付けが減少したためです。

県別にみると、福岡、佐賀及び宮崎において100%を上回っています。

なお、田畑計の本地利用率は111.6%で、前年に比べて0.3ポイント低下しました。

図 2 県別の耕地利用率



2 田

(1) 田の作付延べ面積は37万5,600haで、前年に比べて1,200ha(0.3%)減少しました。

これを作物別に前年と比較すると、他作物からの転換等により稲が5,100ha(2.6%)、近年の焼酎ブームで原料用かんしょが99ha(10.4%)それぞれ増加しました。

一方、飼肥料作物は稲への転換や、小規模畜産農家の飼養中止により2,900ha(5.3%)、豆類も稲への転換で1,900ha(7.5%)、野菜は市場価格の低迷等により1,200ha(3.7%)いずれも減少しました。

(2) 田の耕地利用率は112.8%で、前年に比べて0.4%ポイント上昇しました。

これを県別にみると、佐賀県、福岡県、宮崎県、熊本県及び鹿児島が100%を上回っています。

なお、田の本地利用率は120.3%で、前年に比べて0.5ポイント上昇しました。

3 畑

(1) 畑の作付延べ面積は22万9,400haで、前年に比べて4,100ha(1.8%)減少しました。

これを主な作物別に前年と比較すると、かんしょが焼酎ブームにより原料用作付が800ha(5.1%)増加したものの、果樹が管理不良園の廃園等により1,500ha(3.0%)、野菜が市場価格の低迷や生産者の労働力不足等により1,200ha(2.5%)、飼肥料作物が小規模畜産農家の飼養中止等により800ha(1.1%)いずれも減少しました。

(2) 畑の耕地利用率は93.9%で、前年に比べて1.2ポイント低下しました。

これを県別にみると、宮崎県で100%を上回ったものの、他の県はいずれも100%を下回っています。

なお、畑の本地利用率は99.9%で、前年に比べて1.3ポイント低下しました。

第2表 田畑別作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

単位 { 面積 : ha
対比・利用率 : %

区 分	田			畑		
	平・16	前年との比較		平・16	前年との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比
作付(栽培)延べ面積	375 600	1 200	99.7	229 400	4 100	98.2
稲	201 600	5 100	102.6	361	32	91.9
麦 類	53 700	100	102.0	1 300	170	88.4
か ん し ょ	1 050	99	110.4	16 400	800	105.1
雑 穀	1 410	0	100.0	928	9	99.0
豆 類	23 400	1 900	92.5	2 270	110	95.4
野 菜	31 200	1 200	96.3	47 300	1 200	97.5
果 樹	-	-	-	48 300	1 500	97.0
工 芸 農 作 物	5 290	170	96.9	33 500	800	97.7
飼 肥 料 作 物	51 900	2 900	94.7	71 100	800	98.9
そ の 他 作 物	6 040	310	95.1	7 980	340	95.9
耕 地 面 積	332 900	2 300	99.3	244 300	1 200	99.5
耕 地 利 用 率	112.8	0.4	-	93.9	1.2	-
本 地 利 用 率	120.3	0.5	-	99.9	1.3	-

統計表

平成16年農作物作付(栽培)延べ面積

区分	作付(栽培) 延べ面積	稲	麦類	かんしょ	雑穀	豆類	野菜	果樹	工芸 農作物	飼肥料 作物		
九州	605 000	202 000	55 000	17 400	2 340	25 700	78 500	48 300	38 800	123 000		
田	福岡	101 400	42 100	19 500	225	87	8 230	11 400	8 370	1 760	5 930	
	佐賀	74 800	29 300	21 600	122	34	7 900	5 710	5 740	1 500	2 200	
	畑	長崎	49 200	14 500	2 030	644	205	958	11 600	5 940	1 960	10 500
		熊本	118 500	42 300	6 660	1 270	462	3 520	16 000	13 800	5 730	26 200
	計	大分	59 200	26 200	4 890	315	228	3 640	6 300	5 510	1 590	9 740
		宮崎	77 500	21 700	93	2 260	375	700	11 200	3 720	3 980	32 400
		鹿児島	124 400	26 000	248	12 600	946	708	16 200	5 220	22 300	36 000
九州	375 600	201 600	53 700	1 050	1 410	23 400	31 200	-	5 290	51 900		
田	福岡	84 700	42 100	19 500	39	85	8 100	6 920	-	85	5 110	
	佐賀	64 300	29 300	21 500	13	28	7 650	4 080	-	49	1 140	
	畑	長崎	24 200	14 500	1 410	27	108	638	2 810	-	209	4 190
		熊本	78 300	42 200	6 360	89	268	2 970	9 610	-	3 590	11 800
	計	大分	41 300	26 200	4 810	48	175	3 180	2 090	-	172	4 230
		宮崎	41 900	21 700	54	362	262	485	4 040	-	715	14 100
		鹿児島	40 900	25 800	150	469	483	361	1 620	-	474	11 400
九州	229 400	361	1 300	16 400	928	2 270	47 300	48 300	33 500	71 100		
田	福岡	16 800	-	28	186	2	132	4 440	8 370	1 680	821	
	佐賀	10 500	-	128	109	6	243	1 620	5 740	1 450	1 050	
	畑	長崎	24 900	9	626	617	97	320	8 830	5 940	1 750	6 280
		熊本	40 300	69	300	1 180	194	548	6 400	13 800	2 140	14 500
	計	大分	17 900	8	82	267	53	465	4 200	5 510	1 420	5 510
		宮崎	35 600	14	39	1 900	113	215	7 190	3 720	3 270	18 300
		鹿児島	83 500	261	98	12 100	463	347	14 600	5 220	21 800	24 600

及び耕地利用率

参考：前年との比較

単位 { 面積：ha
利用率：%

その他 作物	耕地 利用率	本地 利用率	作付(栽培)延べ 面積	稲	麦 類	かん しよ	雑 穀	豆 類	野 菜	果 樹	工芸 作物	飼肥料 作物	その他 作物	耕地 利用率	本地 利用率
14 000	104.8	111.6	5 300	5 100	0	900	0	2 000	2 400	1 500	900	3700	700	0.3	0.3
3 910	111.9	117.6	700	1 700	100	25	2	440	600	260	30	470	360	0.2	0.2
694	132.6	139.6	200	900	400	1	13	1 000	80	420	10	90	11	0.3	0.5
858	95.5	103.4	0	300	70	17	9	72	300	170	20	100	26	0.0	0.0
2 550	97.9	105.4	2 000	1 400	170	20	19	300	1 000	200	120	1600	90	1.0	1.1
824	96.9	104.4	1 100	100	180	11	13	90	230	360	100	190	47	0.2	0.5
1 070	110.1	115.8	100	700	3	160	66	57	100	30	70	800	70	0.2	0.3
4 120	98.7	104.9	1 200	0	40	800	48	48	500	120	600	600	200	0.6	0.6
6 040	112.8	120.3	1 200	5 100	100	99	0	1 900	1 200	-	170	2 900	310	0.4	0.5
2 790	120.5	126.6	100	1 700	100	5	3	420	430	-	12	420	330	0.7	0.8
573	144.2	150.6	200	900	600	1	10	1 030	140	-	6	80	0	0.8	0.8
379	99.6	108.0	0	300	80	0	7	46	90	-	5	180	23	0.8	0.9
1 390	107.9	115.0	500	1 400	160	3	2	250	490	-	80	1 000	20	0.3	0.4
465	97.2	105.9	400	100	170	1	11	70	60	-	4	160	56	0.4	0.6
243	109.7	117.4	100	800	2	2	39	24	50	-	49	600	30	0.3	0.4
200	101.2	109.1	400	100	11	104	49	51	20	-	1	500	8	0.3	0.2
7 980	93.9	99.9	4 100	32	170	800	9	110	1 200	1 500	800	800	340	1.2	1.3
1 120	82.8	87.0	600	-	0	20	1	14	230	260	10	42	30	1.7	1.8
121	89.7	96.3	500	-	112	2	3	27	50	420	10	30	11	2.7	3.7
479	91.5	98.8	100	2	0	17	2	26	130	170	20	270	3	1.1	1.2
1 160	82.9	91.0	1 400	7	18	20	21	51	480	200	40	600	70	2.0	2.3
359	96.2	101.7	700	5	5	10	2	13	180	360	100	40	9	1.7	2.2
824	110.9	113.7	0	1	1	170	27	33	220	30	20	300	38	0.3	0.0
3 920	97.5	103.0	700	17	29	700	1	3	400	120	600	100	190	0.6	0.6

【利用上の注意】

1 この資料における数値は、農作物の土地利用の状況を表すものとして、作付延べ面積（作物別の作付（栽培）面積の合計）及び耕地（本地）利用率を「耕地及び作付面積調査」の結果から算出したものです。

2 耕地（本地）利用率は、次の方法によって算出しました。

$$\text{耕地（本地）利用率（％）} = \frac{\text{作付（栽培）延べ面積}}{\text{耕地（本地）面積（7月15日現在）}} \times 100$$

なお、本地とは、直接農作物の栽培に供せられる土地で、耕地から「けい畔」を除いた土地をいいます。

3 作物別区分は、次のとおりです。

(1) 稲は、水陸稲の子実用です。また、水稲のうち「畑地かんがい水稲」は畑作として計上しました。

(2) 麦類は、6麦（小麦、二条大麦、六条大麦、裸麦、えん麦及びらい麦）であり、子実用のみです。

(3) 雑穀及び豆類は、乾燥子実用（未成熟との兼用を含む。）です。

(4) 野菜には、上記の雑穀（とうもろこし）及び豆類（えんどう、そらまめ、大豆、いんげん等）の未成熟用を含みます。また、ばれいしょは野菜に計上しました。

(5) 飼肥料作物は、稲、麦類、雑穀、豆類等の青刈り用を含みます。

(6) その他作物は、桑、花き、花木、種苗、芝等であり、麦類その他用（農作物の保護用、生花用等）を含みます。

4 計と内訳は、ラウンド（四捨五入）のため一致しない場合があります。

原 数		7桁以上	6桁	5桁	4桁	3桁以下
ラウンドする桁(下から0の数)		3桁(000)	2桁(00)		1桁(0)	ラウンドしない
例	計算数値(ラウンド前)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	計算数値(ラウンド後)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

5 この統計表で使用した記号は、次のとおりです。

「0」……………単位に満たないもの

「-」……………事実のないもの

「 」……………減少したもの

【掲載内容に関するお問い合わせ先】

担 当：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1係

電 話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4753)

直通電話： 096 - 353 - 7573

九州農政局ホームページでも御覧になれます。

<http://www.kyushu.maff.go.jp>